

都民の健康的な心身と豊かな人間性を育むために

食は私たちが生きていく上で欠くことのできないエネルギーであり、同時に生きる上で楽しみや喜びを与えてくれる源です。生涯を通じて心身を健康に保ち、豊かな人間性を育てていくためには、私たち一人ひとりが食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することが必要です。

近年、ライフスタイルの多様化や一人暮らし世帯の増加など環境の変化から、不規則な食生活や栄養バランスの偏りなどの問題が生じています。とりわけ東京には、消費者の多様なニーズに応える様々なサービスが集積する利便性がある反面、食の生産現場が身近に見えないことから、食を大切にする心の希薄化などの問題が生じ、深刻化しています。

こうした状況に対処するため、都は、食の大消費地であり、サービスの多様化が進む東京にふさわしい食育推進の方向性を示した「東京都食育推進計画」を策定し、食育を推進してまいりました。この度、5年を経過し、施策の成果や達成度を把握するため、11の指標を新たに設定しました。

本計画は、都民の将来にわたる健康の確保と次代を担う感性豊かな人材の育成を図るため、知育、徳育及び体育の基礎ともなる食育をすべての世代の都民を対象として進めていくものです。

今後も引き続き、東京都の食をめぐる危機的状況からの脱却に向け、都民や関係団体・業界、区市町村と連携、協力しながら、東京に集積する人材、情報、食のサービスを活かし、東京発の食育を力強く推進してまいります。

平成 23 年 10 月

東京都知事

石原慎太郎



